学校番号	323

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	なし						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇自分の家庭生活について興味や関心をもち、よりよい生活につながるよう取り組みましょう。
- 家庭生活に関係する様々な内容に対して、知識を身に付け、理解を深めます。
- 家庭生活の様々な課題については、自分で考えてみたり、グループで考えを共有したりして、よりよい家庭生活の営み方を考えます。
- 実習や実験、視聴覚教材などから、知識や技術を体験的に身に付けます。
- これらの学習を通して、自分の家庭生活が豊かなものになることをめざします。

２ 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざしして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 定期考査の結果 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 定期考査の結果　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 レポート 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	自分らしい人生をつくる	○生涯発達の視点 各ライフステージの特徴と課題を理解する。 ○青年期の課題 生涯発達の観点から今の自分を客観的に見つめ、生活課題に対応した意思決定の大切さを理解する ○人生をつくる 男女が相互に協力して過程を築くことの重要性を理解し、家庭生活の在り方について考える。 ○家族・家庭を見つめる 家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握する。 ○これからの家庭生活と社会 家事労働・職業労働について知り。ワーク・ライフ・バランスについて考える。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	ａ：生涯発達の考え方に立ち、ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、青年期の課題について具体的に考えようとしている。 固定的な性別役割分業意識を見直し、多様な生き方を認め積極的に家族・家庭と社会との関わりを考えようとしている。 ｂ：自分を見つめ肯定的な自己概念を持ち自分の人生や進路について考えを深め具体的にまとめている。男女共同参画の面から各自が担う家庭での役割と自立について考えまとめている。民法改正についてグループで討議し互いの意見を評価する。 ｃ：家族や家庭生活の在り方などについて検討するために、新聞や書籍などから必要な資料を収集したり、調査したりすることができる ｄ：生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題について理解している。 青年期の課題や現代家族の特徴、家庭機能の変化、家庭生活と社会との関わりについて理解している。	授業観察 プリント ワークシート (自己評価・相互評価) 定期考査

1	高齢社会を生きる	○高齢期を理解する 高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢者の心身の特徴 高齢期の心身の変化や特徴と、個人差が大きいことを理解する。 ○これからの高齢社会 高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	ａ：高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち、高齢者を肯定的にとらえ、高齢期の生活について考えようとしている。 ｂ：高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見い出し、その解決を目指して思考を深め、まとめたり、発表したりしている。 ｃ： 地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり、調査したりすることができる。 ｄ：高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。高齢者の尊厳を保ち、残存能力を生かした自立生活支援の必要性を認識している。	授業観察 プリント ワークシート 定期考査

2	子どもと共に育つ	○命を育む 出産前後の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。 ○子どもの育つ力を知る 人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを理解する。 ○親として共に育つ 遊び、基本的生活習慣の形成、食事、健康管理について知る。 ○これからの保育環境 子どもを取りまく社会変化の現状について理解し、考える。 ○児童福祉の理念を理解し、子育て支援の在り方について考える。	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○	a：母体の健康と子どもの誕生、子どもの心身の発達について関心を持ち家族の果たす役割を考えようとしている。 子どもを取り巻く環境や子育てにおける課題に関心を持ち、考えようとしている。 ｂ：児童虐待や育児不安の事例研究を通して、原因および解決について考えを深めようとしている。子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見い出している。 ｃ：子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集したり、調査することができる。 ｄ：生命の尊さ、子育ての重要性について理解している。妊娠や出産に関わる知識を身につけている。子どもの心身の発達や生活と環境との関わりについて、家族や地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。社会全体で子育てを支援する必要性を認識し、子どもの権利と福祉について理解している。	授業観察 プリント DVD ワークシート 定期考査

3	経済生活を営む	○職業生活を設計する 高校卒業後について、経済的自立と職業について主体的に考える必要性を理解する。 ○計画的に使う 生活の基盤となる家計管理の重要性を認識し、ライフステージごとのポイントを知る。 ○現代の消費社会 キャッシュレス社会のメリット・デメリットを考え、契約や消費者信用、多重債務問題などを学習し、消費者として適切な判断ができるようにする。 ○消費者の権利と責任 消費者基本法を通して、消費者には権利と責任があることを理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○	a:生涯を見通した生活における経済計画について関心を持ち、自立した消費者として行動しようとしている。消費生活における課題や消費者の権利と責任について理解しようとする。適切な情報の取捨選択や活用に関心を持ち、消費行動における意思決定の重要性や消費者市民社会について考えようとしている。 ｂ：消費者問題について、その原因と対策について具体的な事例を通して考え、まとめたりしている。消費行動における意思決定について、具体的な事例を踏まえて主体的に考え、適切に判断することができる。 ｃ：自立した消費者として、多様な情報の中から、適切な情報を取捨選択し、目的に応じて活用する技術を身につけている。 ｄ：生涯を見通した経済計画の重要性について理解している。 家庭経済と国民経済の関わり、家計の管理や経済計画の重要性を理解している。消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。	授業観察 プリント DVD ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。